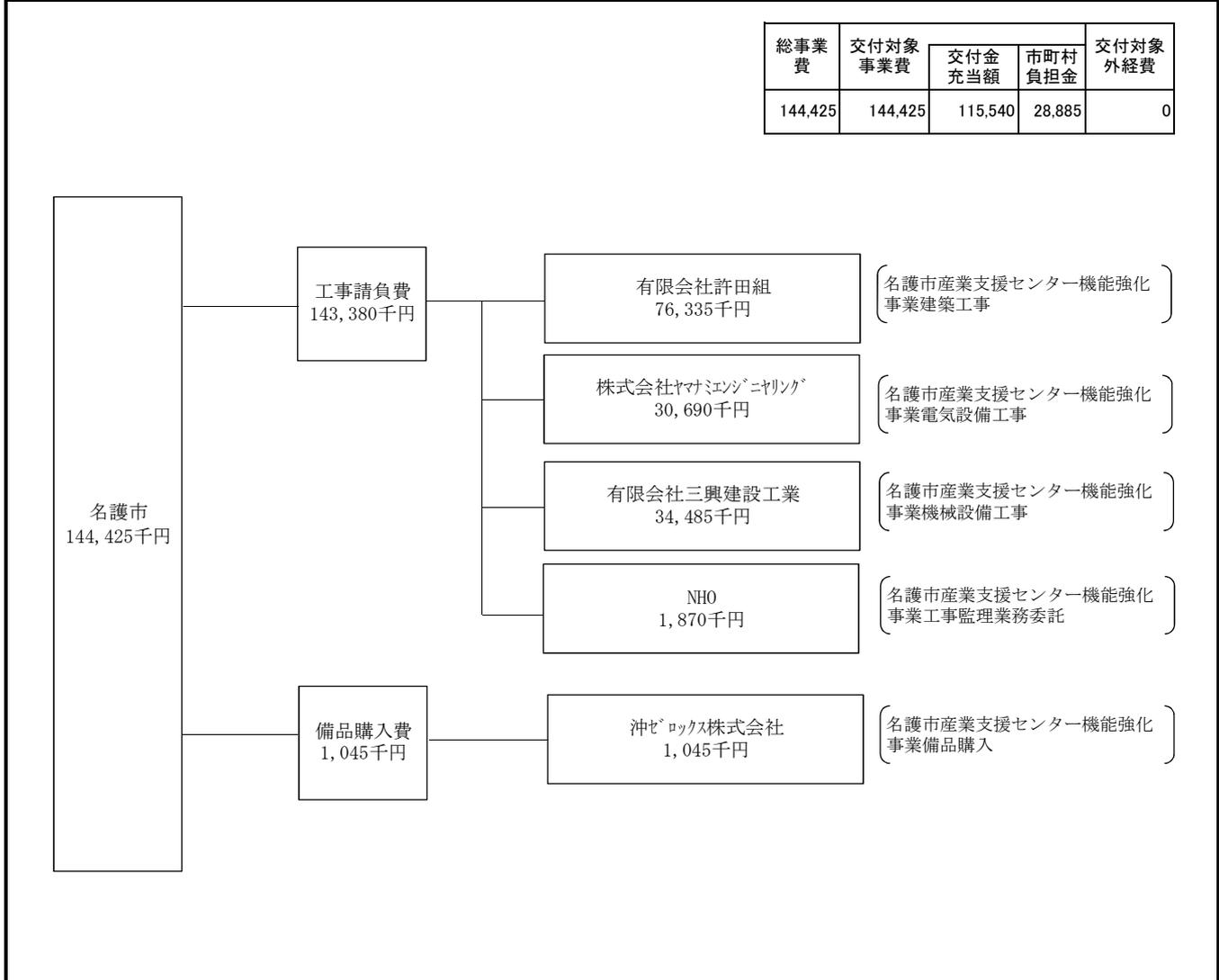


市町村名		名護市					
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	名護市産業支援センター機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3-3-(9)-ア	
担当部署	地域経済部 商工・企業誘致課	事業実施(予定)年度	平成30~令和1年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開		
事業内容	雇用の創出を図るため、名護市産業支援センター(5階フロア)にオフィス、会議室、トイレ等を整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,536	146,443			
		(b) 予算現額	6,146	146,443			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 5,390	0	0	0	0
		(d) 繰越額			119,328		
	A. 計(b+d)		6,146	146,443	119,328	0	0
	B. 執行済額		6,145	27,115	117,310		
	うち交付金充当額		4,916	21,692	93,848		
	次年度繰越額		0	119,328			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	18.5%	98.3%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		H30年度は「建築設計業務積算基準(沖縄県土木建築部)」に基づき、改修後の図面作成に係る複雑度の低いAとして設計を見直したため、5,390千円が不要となった。R1年度に146,443千円の交付決定を受けたが、入札不調により事業を遂行することができなかつたため、119,328千円をR2年度に繰越した。R2年度においても1度は入札不調となったが、その後落札者が決定し、事業を期限内に完了することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	機能強化工事の完了	目標	(実施設計策定完了)	(機能強化工事完了)	()	()	
		実績	実施設計策定完了	機能強化工事完了			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成30年度に実施設計を完了し、令和2年度に機能強化工事(建築工事、電気設備工事、機械設備工事)を行い、会議室2室、事務室3室を新たに設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	機能強化工事の完了	目標	()	(実施設計策定完了)	(機能強化工事完了)	()	()
		実績		完了	機能強化工事完了		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	*R1年度は入札不調により機能強化工事を完了することができず、R3年3月末で整備が完了し、令和3年4月から供用が開始されている。					

		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証		・機能強化工事完了により、オフィス及び会議室の供用が可能となったことから、更なる産業振興を図る支援拠点として、新たな雇用の創出を促すことができるようになった。	・ホームページや広報誌を活用しつつ、商工会、観光協会及び関係機関等とも協力しながら、進出希望企業への案内を行っていく。
	今後の取り組み方針		
		・ホームページや広報誌を活用しつつ、商工会、観光協会及び関係機関等とも協力しながら、進出希望企業への案内を行っていく。	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について不用額が7,409千円となっており、改善を要す。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

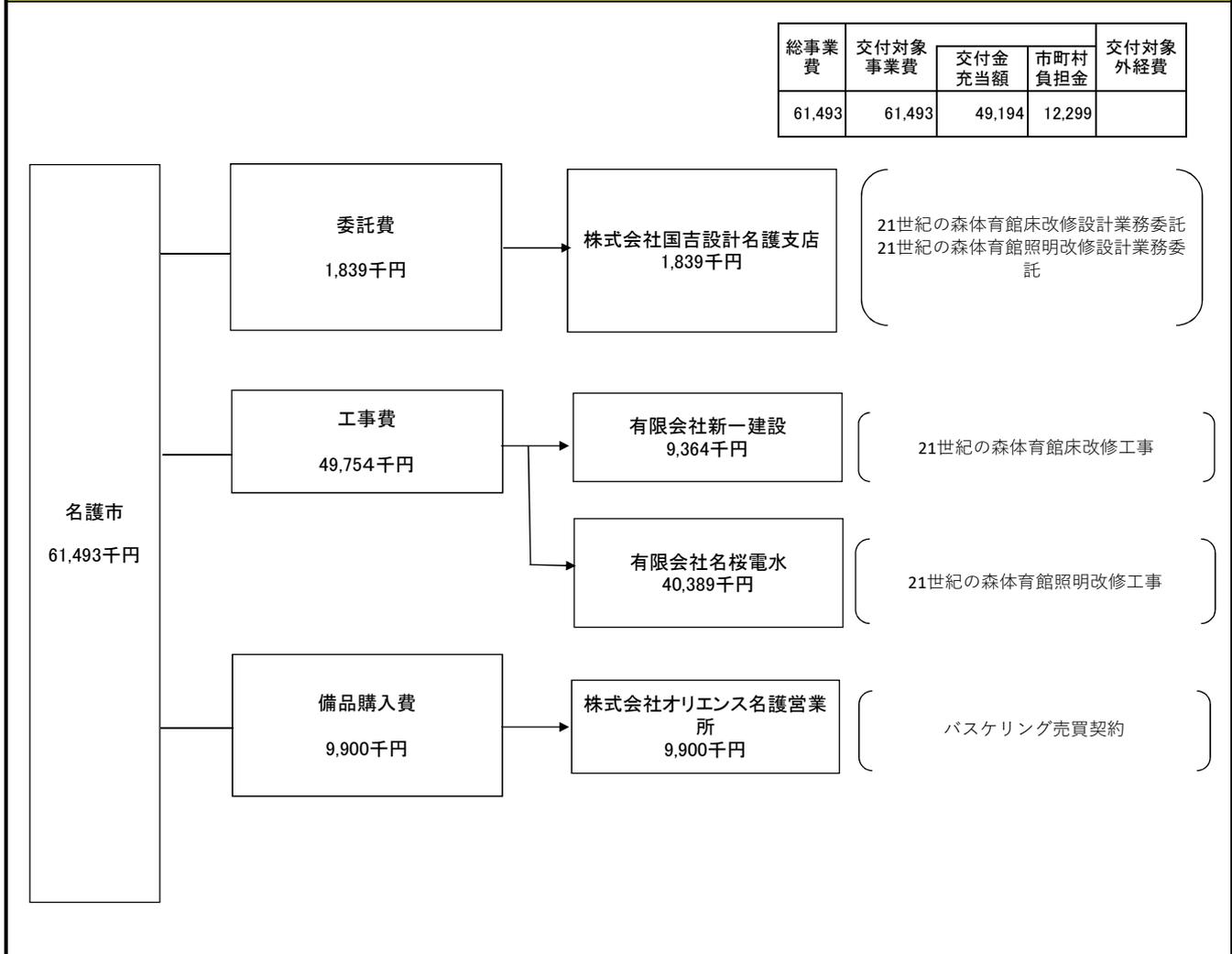
市町村名		名護市					
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑪	21世紀の森体育館機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ	
担当部署	地域経済部 文化スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツアイランド沖縄の形成		
事業内容	スポーツコンベンション誘致件数増加を図るため、照明のLED化、床の補強及び備品の購入を行い、21世紀の森体育館の機能の強化を実施した。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		80,868			
		(b) 予算現額		80,868			
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額			55,303		
		A. 計(b+d)	0	80,868	55,303	0	0
	B. 執行済額			11,739	49,754		
	うち交付金充当額			9,391	39,803		
	次年度繰越額			55,303			
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	14.5%	90.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		21世紀の森体育館の照明及び床の改修工事について、利用団体及び施設管理者との協議、調整に不測の日数を要し、工事費にかかる55,303千円を令和2年度に繰越をした。最終的に、入札執行残により、不用額が生じたが、当初予定していた事業内容を全て実施できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	21世紀の森体育館機能強化	目標	()	(機能強化)	(機能強化)	()	
		実績		繰越	機能強化		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	21世紀の森体育館機能強化に係る整備工事について、利用団体及び施設管理者との協議、調整に不測の日数を要し、令和元年度内の完了が困難となり令和2年度に繰越をし、完了した。当初設定した活動目標については達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(3年度)
	バスケットリングの整備	目標	()	()	(1件)	()	()
		実績			1件		
	メインフロア床事故防止対策	目標	()	()	(1件)	(1件)	()
		実績			繰越	1件	
	メインフロア照明LED化	目標	()	()	(1件)	(1件)	()
		実績			繰越	1件	
	サブアリーナ照明LED化	目標	()	()	(1件)	(1件)	()
		実績			繰越	1件	
	【R3成果目標】 ・スポーツ合宿件数 9件 ・施設利用人数 111,400名		目標	()	()	()	(9件) (111,400名)
		実績					

進捗状況説明	21世紀の森体育館機能強化に係る整備工事について、利用団体及び施設管理者との協議、調整に不測の日数を要し、令和元年度内の完了が困難となり令和2年度に繰越し、完了した。当初設定した活動目標については達成することができた。
--------	---

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後、県外の実業団や大学によるスポーツ合宿及び大会誘致に向けて取り組む必要がある。	HP等を利用して県外の実業団や大学に対し、施設機能の紹介やスポーツ合宿助成金の情報発信を行い、スポーツ合宿の利用促進に向けた誘致活動の実施が必要である。

今後の取り組み方針
HP等活用し、県外実業団や大学等に対し、施設機能の紹介や、スポーツ合宿助成金に関する情報発信を行い、スポーツ合宿誘致活動を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については当初予定していた事業の活動内容に応じた基準等(積算基準)により算出され、適正な規模であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	